



AKB48 美術部メンバーとHKT48が佐賀にやって来る!! 11月23日から3日間、佐賀市内で開催される第12回全国障害者芸術・文化祭さが大会「バラエティ・アート・フェスタさが2012」のオープニングにAKB48 美術部メンバーとHKT48が出演することが決定した。HKT48の指原莉乃さん(19)と、AKB48 美術部部長の片山陽加さん(22)に話を聞いた。

★HKT48へ移籍して3カ月、九州の暮らしやHKT48メンバーの印象を教えてください。

— 東京でも仕事があるので、どっちにも住んでいる感じです。実際、外を歩く時間もほとんどないです。メンバーが若いので夜ごはんと一緒にいくというところもないので、まだ慣れていません。HKTメンバーはすごく明るくてみんな若いし、まっすぐで良い子ばかりという印象です。いきなり年上になったという感じはあまりありません。AKB48の中でも若いという感じもなかったですし、実際、HKT48メンバーともそんなに歳は変わらないので。

★大分出身ということですが、佐賀に来た事がありますか？

— 実は一度も行った事がないんです。でも、HKT48に移籍したことで佐賀は身近に感じます。佐賀といえど、吉野ヶ里遺跡!! 博多の観光雑誌を読んでいる、近隣の観光施設の紹介として

掲載されてきました。社会の授業で名前を聞いていたので印象に残っています。名物なら佐賀牛ですね。いろんな場所で仕事をするのを楽しみは、ごはんが一番。そこできれいなお店がないファンの方にお会いできるのもすごく楽しみなんですが、コンサート以外だったら、やっぱり食べるのが楽しみです。その土地にしかないお菓子とか、特産物とか、お土産を選んで。★AKB48メンバーは東日本大震災被災地訪問にも積極的に取り組んでいます。特に指原さんはメンバー最多の5回訪問しています(2012年7月時点)。

— すべてのメンバーが行きたいと思っ

HKT48 指原莉乃さん(19)



でも楽しめる 常に考えて

— HKT48劇場には車椅子のお客さまには聴力や視力に障がいを抱えている専用のコナールもありますし、握手会には聴力や視力に障がいを抱えていると、逆にこちらが元気を頂きました。今ではたくさんの方が喜んでくださる、というのが実感できています。一番最初の被災地訪問は大震災の2ヵ月後くらいだったので、行ってご迷惑にならないだろうか、という思いがありました。被災者の方を訪問する前に、実際に被害にあった場所を見に行きました。テレビの映像とは違う現実味に、つらい思いになり、本当に行っていないのだろうか、という考えも頭によぎりました。でも訪問すると、被災者の方も喜んでくださって、「本当に元気になれた」と声を掛けてもらえました。AKB48ファンの方だけではなく、おじいちゃんやおばあちゃんから、「すごく元気になりました、頑張ってください」と逆に励まされたことが印象に残っています。

★AKB48チームはたくさんの方に楽しんでもらうことにこだわってパフォーマンスをしています。「芸術も、文化も、楽しんだもの勝ち」がテーマのバラエティ・アート・フェスタさが2012」のオープニングアクトにびつたりですね。

— HKT48劇場には車椅子のお客さまには聴力や視力に障がいを抱えている専用のコナールもありますし、握手会には聴力や視力に障がいを抱えている

★特に指原さんのトークに期待しています。

— 地方へ行くとその場に合わせたMCが好評なので、本番の1時間くらい前に、メンバーみんなで調べて、なにが喜んでもらえるか、を考えます。直前に仕入れる感じが楽しいですね。現地の人とお話したりするのも楽しいです。佐賀のネタも「モテモテさが」を読んで勉強しておきます!!

★佐賀で始めてのステージ。注目してもらいたいポイントは？

— HKT48とAKB48美術部のメンバーと一緒にステージに立つというのは初めてだと思います。特別なステージということで、ぜひ期待してください。どんな方も楽しめるコンサートになるよう、メンバーもすごく考えていますし、楽しみにしています。ぜひ見に来て頂いて、笑顔になってもらえれば嬉しいです。

方も来場されます。どんな人でも楽しめる、というのは常にメンバー全員が考えていることです。そのためには楽曲であったり、眼が見えない人であればお話やラジオ。耳の不自由な方にはパフォーマンスであったり、プロモーションビデオだったり、バラエティ番組だったり。いろんな活動で意識していますし、楽しんで頂いているのか、という意識を常に持っています。でも実際に会いに来てくれたり、ブログへのコメントなどを通して、届いているんだな、と実感することがあります。オープニングアクトに選ばれたのは本当に嬉しいです。



どんな人

必勝! アイドルオーディション講座

ダンス&アピール

ダンスは歌とともに、アイドルに欠かせない要素です。基礎的な体の動かし方やリズムの取り方をみっちり勉強。どんな振付でも感覚的に対応できるように準備をしましょう。



日時 月曜 18:00~ (月2回)
講師 佐野 裕美

ヴォイストレーニング

アイドル系のトレーナーによる本格的なレッスンです。自分の声質に合わせた、無理のない歌い方を身につけましょう。



日時 水曜 18:00~ (月2回)
講師 進登 祐美

約400講座! +α(プラスアルファ)

佐賀新聞文化センターの講座から好きなものを選択!! 自分にあった特技を磨きましょう。
例) 日本舞踊、絵画、ハーモニカ、奥の細道を読む、外国語...◇詳しくはP114をご覧ください

随時募集中 定員 30人
受講料 15,000円/月[3分野]
対象 小学5年~中学3年

お問い合わせ/お申し込みは 佐賀新聞文化センター エスプラッツ教室 佐賀市白山2丁目7-1 エスプラッツ3F http://www.saga-sbc.jp

TEL 0952-25-2160
info@saga-sbc.jp



AKB48 美術部作品展

佐賀県総合体育館大競技場で行われる「全国障害者美術・文芸作品展」にAKB48 美術部の作品も展示！

[期間] 11/23 (祝・金) ~ 25 (日)
[会場] 佐賀県総合体育館大競技場
[時間] 10:00 ~ 17:00
(開場 9:30)



アクセス MAP





**読者
プレゼント**

各**3**名様

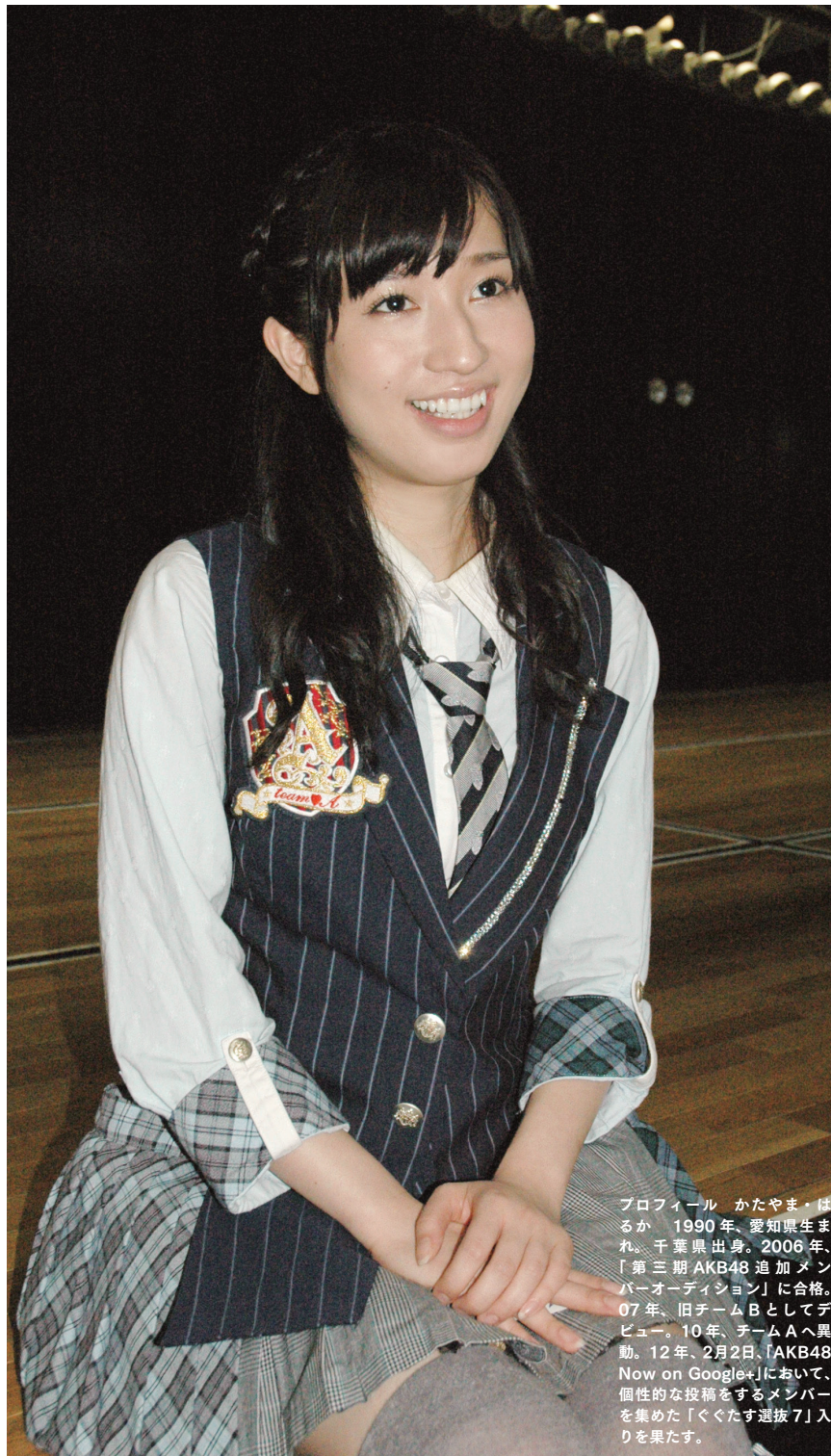


**AKB48
片山陽加さん**



**HKT48
指原莉乃さん**

サイン入りモテモテさが
詳しい応募方法はP130 ~ のプレゼントページをご覧ください！



プロフィール かたやま・はるか 1990年、愛知県生まれ。千葉県出身。2006年、「第三期AKB48追加メンバーオーディション」に合格。07年、旧チームBとしてデビュー。10年、チームAへ異動。12年、2月2日、「AKB48 Now on Google+」において、個人的な投稿をするメンバーを集めた「ぐぐたす選抜7」入りを果たす。

★片山さんはAKB48美術部の部長を努めています。美術部を作ったきっかけは？

— Google+(ぐぐたす)の中で、絵を描き出したのが最初です。はじめは、みんなから、すごい「ヘタクソ」って言われていて、その頃から、絵の対決をしようという感じで、ブームが来たんです。それに秋元先生が目を見てくださったって、「部活やろう。美術部つくろうよ」っていうことで、できたんですよ。

★アートの魅力を教えてください。

— アートには勉強と違って答えがありません。正確に描く必要もないし、自分が思った通りのものが作れます。絵を描くことによって、自分が楽しめたり、ストレスを発散したり自分の思いを自由にぶつけることができるのがアートの楽しさだと思います。

★1つの作品を作るのには、どれくらい時間をかけますか？

— 普段、ブログにあげているようなものは2-3分くらいです。動物の絵を描くのが好きで、それは時間がかかりません。でも美術部の作品は2日間くらいかかりました。大きいキャンバスに描くのは大変でした。

★最近作ったお気に入りの作品はどのようなものですか？

— サイモンや炙り縁側などのお絵の描きです。スマホのお絵描き機能を使って描きました。炙ったこげの部分や米粒などすごく良く描けたと思ったんですが、みんなからは、何コレって言われちゃって。でも気に入っています。ぐぐたすにアップしているので、是非見てください。

自分の思いを自由に表現



★AKB48美術部は、今年6月から24日間、東京で展覧会を開催しました。たくさんの方が訪れたそうですが、お客様の反応を教えてください。

— AKB48のイベントでメンバーが出ないという形式は、この展覧会が初めてだったと思います。メンバーの顔を見たい、メンバーに会いたいという方が多いと思うので、絵に関心を持つ

AKB48 美術部部长 片山陽加さん(22)

てくれるファンはどれくらいいるのかわからないか、と始まる前は不安もありました。開幕して、みんなの頑張っている姿を見てもらいたいな、という思いが通じたのか、ブログのコメント欄とか握手会などで、「いいね」とか、「頑張っている姿が目に浮かぶ」とか本当に嬉しい言葉が掛けていただけました。そして公開制作の時も、たくさんの方に励まして頂きました。

作品を作る時間も少なく、大きい作品になると部屋で作らなくてはいけなくて、姉妹グループの部員は、東京での仕事が終わった後に描くこともあります。キツイ部分はあったんですけど、ファンの方とかコメントを読むと、頑張った良かったな、展覧会を



開けて本当に良かったな、と思いました。

★アートは言葉ではできないコミュニケーションを実現する力があると思います。ご自身の経験から、そのようなエピソードがあったらお聞かせください。

— 以前見た、ある画家の展覧会が印象に残っています。その画家のことは何も知りませんでした。絵を見て行くうちに、年代ごとに画風が変化していることに気づきました。鮮やかな色を使っているときもあれば、暗い色ばかりのときもある。多分、このとき、こういう気持ちだったんだろうな、とか画家の心が伝わってくる衝撃的な体験でした。

私たちはアートを習い始めたばかりなので、自分の心情まではぶつけられないかもしれない。でも今回、一生懸命、夢中になって作った作品を見て頂いて、その思いが伝わっただけでも嬉しかったです。また機会があれば第2弾をやりたいですね。

★今回のイベントでは美術部の作品を佐賀で展示する予定になっています。バラフェスには、障がいのある人もない人も、いろんな人が来ます。メッセージをお願いします。

— 私たち世代の人はあまりアートの触れていないんじゃないかな。美術展ってなかなか入りにくいような感じがしますが、どういう形であれ、アートに関心を持ってもらいたいです。私たちのパフォーマンスを目的で来た方が、絵を見て、何かを感じて、アートに関心を持ってもらえるきっかけになったら嬉しいですね。